

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	大阪市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	大阪市文化遺産を活かした地域活性化事業		
4 実施計画期間	平成 28 年度 ～ 平成 32 年度		
5 実施計画の概要			
<p>「大阪市芸術文化振興プラン」（平成23年3月策定）および「大阪市教育振興基本計画」を踏まえ、大阪市域の伝統芸能、文化遺産を活用し、魅力あふれる『芸術文化都市 大阪』を創造すること、地域の文化遺産の継承・発展によって地域の活性化を推進するため、下記の取組を実施する。</p> <p>※「大阪市芸術文化振興プラン」、「大阪市教育振興基本計画」については、概要版を別添する。</p>			
<p>I. 地域の文化遺産活性化事業</p> <p>(1) 地域の文化遺産次世代継承事業</p> <p>①情報発信事業</p> <p>(1) 上方伝統芸能の魅力発信のためのDVD作成事業（平成28～29年度）</p> <p>②普及啓発事業</p> <p>(2) 上方伝統芸能の普及公演事業（平成28～32年度）</p> <p>(3) 住吉神社地車会普及啓発事業（平成25～32年度）</p> <p>(4) 榎並成育地車囃子保存会普及啓発事業（平成24～32年度）</p> <p>(5) 非公開の文化遺産である真宗関係史料の特別公開事業（平成29～32年度）</p> <p>(6) 非公開の文化遺産である密教美術の特別公開事業（平成29～32年度）</p> <p>※当初計画していた、普及啓発事業の深江菅細工の普及啓発事業については、今年度の事業としては見送りすることとした。</p> <p>③調査研究事業</p> <p>(7) 真宗関係史料の保存と活用を目的とした調査・報告書の作成事業（平成25～29年度）</p> <p>(8) 密教関係の仏教美術の調査・報告書の作成事業（平成25～29年度）</p> <p>※調査研究事業については、平成29年度は、今まで未調査であった部分、積み残しとなっていた部分を中心に調査を行い、その結果について報告書としてとりまとめるかたちで実施する。平成30年度以降については、所有者や行政と協力しながら、地域の文化遺産の価値を明らかにし、地域の誇りとして位置付ける一助とするための調査を継続する。また、これまでの調査の結果、価値の明らかとなった文化遺産について、地域の誇りとして地域住民等により認識を深めてもらうことを目的として、通常は公開されていない文化遺産を一般に特別公開し、調査に携わった学識経験者の講演・解説等を実施することで、調査研究した実績の活用をはかる。</p> <p>※当初計画していた、記録作成事業の大大阪の息吹を伝える伝統芸能のアーカイブ化事業については、今年度の事業としては見送りすることとした。</p>			
<p>(2) 伝承文化継承基盤整備</p> <p>①記録作成事業</p> <p>(9) 西之町例大祭修理記録事業（平成29年度）</p> <p>(10) 中宮地区地車修理記録事業（平成29年度）</p> <p>②後継者育成事業</p> <p>(11) 深江菅細工の技術継承事業（平成25～32年度）</p> <p>(12) 深江菅田育成管理事業（平成25～32年度）</p> <p>(13) 榎並・成育地車囃子伝承事業（平成24年度～32年度）</p> <p>③用具等整備事業</p> <p>(14) 大太鼓保存会保存継承事業（平成29年度）</p> <p>(15) 西之町例大祭保存継承事業（平成29年度）</p> <p>(16) 中宮地区地車保存継承事業（平成29年度）</p> <p>(17) 住吉神社地車会継承事業（平成24～32年度）</p> <p>(18) 榎並・成育地車囃子伝承事業（平成24年度～32年度）</p>			

6 実施体制			
<p>大阪市教育委員会事務局 文化財保護課：本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等を行う。</p> <p>また、補助事業は、「大阪市文化遺産を活用した地域活性化事業」の実施団体である「大阪市文化遺産活用実行委員会」が実施する。</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果			別紙①のとおり
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	平成28年度交付決定額： 19,329 千円	平成29年度申請額： 18,908 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>1. 想定される効果 「教育振興基本計画」で示される向う3年間で、市民の地域の文化遺産に対する関心や意識の向上、「大阪市芸術文化振興プラン」が目標とする、魅力あふれる『芸術文化都市 大阪』創造への寄与。観光客の増加を目指す。</p> <p>2. 効果の測定方法 各補助事業の参加者数、来場者数の把握、およびアンケートの実施 地域活性化の観点から、能楽等の無形文化財など、関連する文化遺産について、地域住民等の理解の向上をめざし、地域における文化財遺産への誇り、重要性和保存・継承についての理解についての割合の20%の向上、祭礼等関連する文化遺産の行事への参加人数の約350人の増加、さらに関連する文化遺産の保存会の会員数の約30人の増加を指標とする。計画の期間については、平成28～32年とする。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	なし		
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
なし			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	大阪市教育委員会文化財保護課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 1 :	地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	文化遺産に関する誇りや理解度等の向上を感じる周辺住民の割合			関連事業:	①②⑤⑥⑨⑩	
目標値 1 :	平成 28 年度 70 % ⇒ 平成 32 年度 90 %					
設定根拠 1 :	事業実施後に当該文化遺産に関連する地域住民を対象に聞き取り・アンケート等の調査を行う。その結果により把握することのできる、文化遺産に関する誇りや、理解度等の向上を感じる周辺住民の割合は、普及啓発等の事業の効果測定の上で適切と考えられる。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
%	%	%	%	%	%	
目標区分 2 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 2 :	祭礼行事への参加住民数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	関連する文化遺産にかかる行事等への参加住民数			関連事業:	⑭⑮	
目標値 2 :	平成 28 年度 650 人 ⇒ 平成 32 年度 1,000 人					
設定根拠 2 :	関連する文化遺産にかかる祭礼・イベントなど行事等への参加する住民等の実数の増加は、後継者育成事業等の高架測定の上で、適切と考えられる。					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 3 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 3 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	関連する文化財の保存会会員数の増加			関連事業:	③④⑪⑫⑬	
目標値 3 :	平成 28 年度 83 人 ⇒ 平成 32 年度 115 人					
設定根拠 3 :	関連する文化財にかかる保存会等の構成員の増加は、後継者育成事業等の効果測定の上で、適切な指標と考えられる。					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
人	人	人	人	人	人	

様式 1 - 1 別紙②

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	上方伝統芸能の魅力発信のためのDVD作成事業	実施団体：	公益財団法人 山本能楽堂		
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 29 年度		
事業概要：	多彩な文化集積都市である大阪ゆかりの上方伝統芸能について、その魅力を伝えるDVD、アプリ、HPを作成し、情報発信することで、地域の活性化を行う。				
評価指標区分：	・その他	(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	DVD作成事業実施後に、能楽など対象となる文化遺産に関連する地域住民に聞き取り・アンケート等の調査を行い、文化遺産に関する誇りや理解度等の向上を感じる割合				
目標値：	平成 28 年度 70 %		⇒		平成 29 年度 90 %
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
%	%	%	%	%	%
事業②：	上方伝統芸能の普及啓発公演事業	実施団体：	公益財団法人 山本能楽堂		
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 29 年度		
事業概要：	多彩な文化集積都市である大阪ゆかりの上方伝統芸能について、予備知識がない地域住民等を対象として、普及啓発を目的とした公演を行い、その魅力を伝えることで地域の活性化を行う。				
評価指標区分：	・その他	(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	公演実施後に、能楽など対象となる文化遺産に関連する地域住民に聞き取り・アンケート等の調査を行い、文化遺産に関する誇りや理解度等の向上を感じる割合				
目標値：	平成 28 年度 70 %		⇒		平成 29 年度 90 %
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
%	%	%	%	%	%
事業③：	住吉神社地車会普及啓発事業	実施団体：	住吉神社地車会		
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 28 年度 ～ 平成 32 年度		
事業概要：	大阪を代表する民俗文化財のひとつである住吉大社の地車囃子と狐踊りの普及啓発事業 地元地域での定期的な講習会活動 並びに 地域外での講習会活動				
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数	(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	住吉神社地車会への入会者の人数の増加				
目標値：	平成 28 年度 40 (人)		⇒		平成 32 年度 50 (人)
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)

事業④：	榎並・成育地車囃子普及啓発事業	実施団体：	榎並・成育地車囃子保存会		
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 28 年度 ～ 平成 32 年度		
事業概要：	大阪を代表する民俗文化財のひとつである榎並・成育地車囃子と狐踊りの普及啓発事業 地元地域での定期的な講習会活動 並びに 地域外での講習会活動				
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数	(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	榎並・成育地車囃子保存会への入会者数の人数の増加				
目標値：	平成 28 年度	10 (人)	⇒ 平成 32 年度 20 (人)		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
事業⑤：	非公開の文化遺産である真宗関係史料の特別公開事業	実施団体：	真宗関係史料保存会		
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 32 年度		
事業概要：	通常一般には非公開である大阪市内所在の真宗関係史料について、特別に公開をはかる。4か所程度、3日間、1日あたり3時間程度、学識経験者の解説を伴って公開を行う。				
評価指標区分：	・その他	(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	事業実施後に、対象となる文化財の周辺住民等を対象に行うアンケート等の調査で、文化遺産に関する誇りや理解度等の向上を感じる住民の割合				
目標値：	平成 28 年度	70 (%)	⇒ 平成 32 年度 90 (%)		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
事業⑥：	非公開の文化遺産である密教美術の特別公開事業	実施団体：	大阪密教美術保存会		
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 32 年度		
事業概要：	通常一般には非公開である大阪市内所在の真宗関係史料について、特別に公開をはかる。3か所程度、4日間、1日あたり3時間程度、学識経験者の解説を伴って公開を行う。				
評価指標区分：	・その他	(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	事業実施後に、対象となる文化財の周辺住民等を対象に行うアンケート等の調査で、文化遺産に関する誇りや理解度等の向上を感じる住民の割合				
目標値：	平成 28 年度	70 (%)	⇒ 平成 32 年度 90 (%)		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)

事業⑦：	真宗関係史料の保存と活用を目的とした調査・報告書の作成事業	実施団体：	真宗関係史料保存会			
事業区分：	調査研究	事業期間：	平成 28 年度 ～ 平成 29 年度			
事業概要：	調査が不十分である大阪市内所在の真宗関係史料について、悉皆調査および報告書作成を行う。H28年度まで調査を実施した中で、最終年度として未調査の部分を中心の対象として事業を行う。					
評価指標区分：					(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：						
目標値：	平成 28 年度	%	⇒	平成 29 年度	%	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
%	%	%	%	%	%	
事業⑧：	密教の保存と活用を目的とした調査・報告書の作成事業	実施団体：	大阪密教美術保存会			
事業区分：	調査研究	事業期間：	平成 28 年度 ～ 平成 29 年度			
事業概要：	調査が不十分である大阪市内所在の密教美術について、悉皆調査および報告書作成を行う。H28年度まで調査を実施した中で、最終年度として、未調査の部分を中心の対象として事業を行う。					
評価指標区分：					(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：						
目標値：	平成 28 年度	%	⇒	平成 29 年度	%	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
%	%	%	%	%	%	

事業⑨：	西之町例大祭修理記録事業					実施団体：	西之町夏の例大祭保存継承実行委員会				
事業区分：	記録作成					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 29 年度				
事業概要：	大阪市域には近世から近代にさかのぼる地車がいくつか伝えられており、地域の祭礼などで用いられるとともに、地域の伝統文化の継承のうえで大きな役割を果たしている。西之町の地車はその代表的なものである。地車の修復を行う過程や、地域や伝統行事の由来等を記録したDVDを作成し、地域の公的期間等に配布、公開することで、地域の価値ある文化遺産として、地域住民等の認識と誇りを高め、継承を推進していく。										
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	事業実施後に、当該文化遺産にかかる西之町地域の住民等を対象に行うアンケート等の調査で、文化遺産に関する誇りや理解度等の向上を感じる周辺住民の割合										
目標値：	平成 28 年度		70 %		⇒	平成 29 年度		80 %			
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
%	%	%	%	%	%						
事業⑩：	中宮地区地車修理記録事業					実施団体：	中宮地区秋の例大祭保存継承実行委員会				
事業区分：	記録作成					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 29 年度				
事業概要：	大阪市域には近世から近代にさかのぼる地車がいくつか伝えられており、地域の祭礼などで用いられるとともに、地域の伝統文化の継承のうえで大きな役割を果たしている。中宮地区の地車はその代表的なものである。地車の修復を行う過程や、地域や伝統行事の由来等を記録したDVDを作成し、地域の公的期間等に配布、公開することで、地域の価値ある文化遺産として、地域住民等の認識と誇りを高め、継承を推進していく。										
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	事業実施後に、当該文化遺産にかかる中宮地区の地域住民等を対象に行うアンケート等の調査で、文化遺産に関する誇りや理解度等の向上を感じる周辺住民の割合										
目標値：	平成 28 年度		70 %		⇒	平成 29 年度		80 %			
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
%	%	%	%	%	%						

事業⑪：	深江菅細工の技術継承事業					実施団体：	深江菅細工保存会				
事業区分：	後継者養成					事業期間：	平成 28 年度 ～ 平成 32 年度				
事業概要：	大阪市指定文化財となっている深江菅細工の後継者養成事業で、経験の浅い会員に講習を行い技術の継承をはかる										
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	深江菅細工保存会への入会者数										
目標値：	平成 28 年度		8 人		⇒	平成 32 年度		15 人			
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
人	人	人	人	人	人						
事業⑫：	深江菅田育成管理事業					実施団体：	深江菅田保存会				
事業区分：	後継者養成					事業期間：	平成 28 年度 ～ 平成 32 年度				
事業概要：	大阪市指定文化財となっている深江菅細工の原材料提供のための菅田の管理育成を行う後継者を養成事業する事業。経験の浅い会員に講習を行い技術の継承をはかる										
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	深江菅田保存会への入会者数										
目標値：	平成 28 年度		25 人		⇒	平成 32 年度		30 人			
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
人	人	人	人	人	人						

事業⑬：	榎並・成育地車囃子伝承事業					実施団体：	榎並・成育地車囃子保存会				
事業区分：	後継者養成					事業期間：	平成 25 年度 ～ 平成 32 年度				
事業概要：	大阪を代表する民俗文化財のひとつである榎並・成育地車囃子りの後継者育成事業の実施										
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	榎並・成育地車囃子保存会への新規入会者数										
目標値：	平成 28 年度		10 人		⇒	平成 32 年度		20 人			
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
人	人	人	人	人	人						
事業⑭：	大太鼓保存会修復事業					実施団体：	大太鼓保存会				
事業区分：	用具等整備					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 29 年度				
事業概要：	鶴見区古宮神社に伝承する祭礼時の神楽等は、大阪市域には伝わっている近世にさかのぼる民俗文化財のひとつであり、地域の伝統文化の継承のうえで大きな役割を果たしている。その際に使用する大太鼓の修復を行い、未永く伝統行事を継続することで、地域の価値ある文化遺産として、地域住民等の認識と誇りを高めていく。また平行して修理作業や修復の伝統技術の公開も行って、継承を推進していく。										
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	古宮神社の祭礼への参加人数の増加										
目標値：	平成 28 年度		200 人		⇒	平成 29 年度		250 人			
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
人	人	人	人	人	人						
事業⑮：	西之町例大祭保存継承事業					実施団体：	西之町夏の例大祭保存継承実行委員会				
事業区分：	用具等整備					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 29 年度				
事業概要：	大阪市域には近世から近代にさかのぼる地車がいくつか伝えられており、地域の祭礼などで用いられるとともに、地域の伝統文化の継承のうえで大きな役割を果たしている。西之町の地車はその代表的なものである。地車の修復を行い、未永く伝統行事を継続することで、地域の価値ある文化遺産として、地域住民等の認識と誇りを高めていく。また平行して修理作業や修復の伝統技術の公開も行って、継承を推進していく。										
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	西之町の夏の例大祭の祭礼への参加人数の増加										
目標値：	平成 28 年度		300 人		⇒	平成 29 年度		350 人			
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
人	人	人	人	人	人						

事業⑯：	中宮地区地車復元修復事業	実施団体：	中宮地区秋の例大祭保存継承実行委員会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 29 年度			
事業概要：	大阪市域には近世から近代にさかのぼる地車がいくつか伝えられており、地域の祭礼などで用いられるとともに、地域の伝統文化の継承のうえで大きな役割を果たしている。中宮地区の地車はその代表的なものである。地車の修復を行い、末永く伝統行事を継続することで、地域の価値ある文化遺産として、地域住民等の認識と誇りを高めていく。また平行して修理作業や修復の伝統技術の公開も行って、継承を推進していく。					
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	中宮地区秋の例大祭の祭礼への参加人数の増加					
目標値：	平成 28 年度	150 名	⇒	平成 29 年度	170 名	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
名	名	名	名	名	名	
事業⑰：	住吉大社地車会継承事業 (用具新調・整備)	実施団体：	住吉神社地車会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 32 年度			
事業概要：	大阪を代表する民俗文化財のひとつである住吉大社の地車囃子と狐踊りの後継者育成事業等に使用する上敷きが老朽化したため新調する。					
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	住吉神社地車会保存会への入会者数					
目標値：	平成 28 年度	40 人	⇒	平成 29 年度	50 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
人	人	人	人	人	人	
事業⑱：	榎並・成育地車囃子伝承事業 (用具整備)	実施団体：	榎並・成育地車囃子保存会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 25 年度 ~ 平成 32 年度			
事業概要：	大阪を代表する民俗文化財のひとつである榎並・成育地車囃子の用具整備事業の実施					
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	榎並・成育地車囃子保存会への入会者数の増加					
目標値：	平成 28 年度	10 人	⇒	平成 32 年度	20 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
人	人	人	人	人	人	